

## 27 年度決算議会が開かれました！ 山口議員は総会質疑で様々な課題について質問しました！



福岡市議会では、28 年 10 月 5 日から 10 月 21 日までの 17 日間、27 年度決算について審議を行いました。

山口議員は、決算特別委員会で「幼児教育の環境」・「子どもの貧困対策と高校進学」・「介護保険と地域包括ケアシステム」について質疑を行いました。

質問時間は、会派として 83 分ありそれを 3 人が登壇しましたので、1 人概ね 28 分です。答弁を含めると約 1 時間の質疑を行っています。

### 【 27 年度決算の特色 】

- ①黒字化の達成・・・一般会計の実質収支は約 107 億円の黒字・特別会計は約 93 億円の黒字
- ②市債残高の減少・・・H27 末で 2 兆 3800 億円余りでピーク時（H16）より約 3700 億円減少  
市民一人当たりでは、ピーク時（191 万円）から約 44 万円減少して 147 万円になる
- ③収入の状況・・・法人市民税と個人市民税ともに増加して、市が自由に使える一般財源は前年度と比較して 96 億円増加し、義務的経費も他の政令市の平均値 56.5%となった
- ④他の経営判断状況・・・健全化判断比率や公営企業の資金不足比率ともにクリアしている

### 条例予算特別委員会の質疑から

※議会質疑の詳細は、福岡市議会会議録  
ホームページをご覧ください。

#### ◆ 幼児教育の環境について ◆

保育園不足の中、家庭内保育を行っている家庭にも支援が必要と指摘しました。子どもプラザは市内 14 カ所ありそこでは保育士が育児相談など話を聞いていきます。ホームページをご覧ください。また乳幼児検査では、健診に来られなかった家庭を訪問するなど最後の一人まで徹底して状況確認しています。特に障がい疑われる子どもたちには専門医療機関と連携して支援を行っています。

#### ◆ 介護保険と地域包括ケアについて ◆

介護保険の内、一部が総合事業に移行します。介護予防と日常生活支援事業のサービスが始まります。相談窓口は各区役所で受け付けすることになっていますので、ご相談ください。また「いきいきセンター」が、市民の皆様の窓口になります

#### ◆ 子どもの貧困対策について ◆

生活自立センターで仕事や各種手続きを行っています。まずは家庭生活を安定して、国のメニューである地域未来塾を福岡市も設置し高校進学のため苦手科目克服を目指します。また、国へも奨学金の貸与から給付へと制度を変えるよう審議が始まりました。

